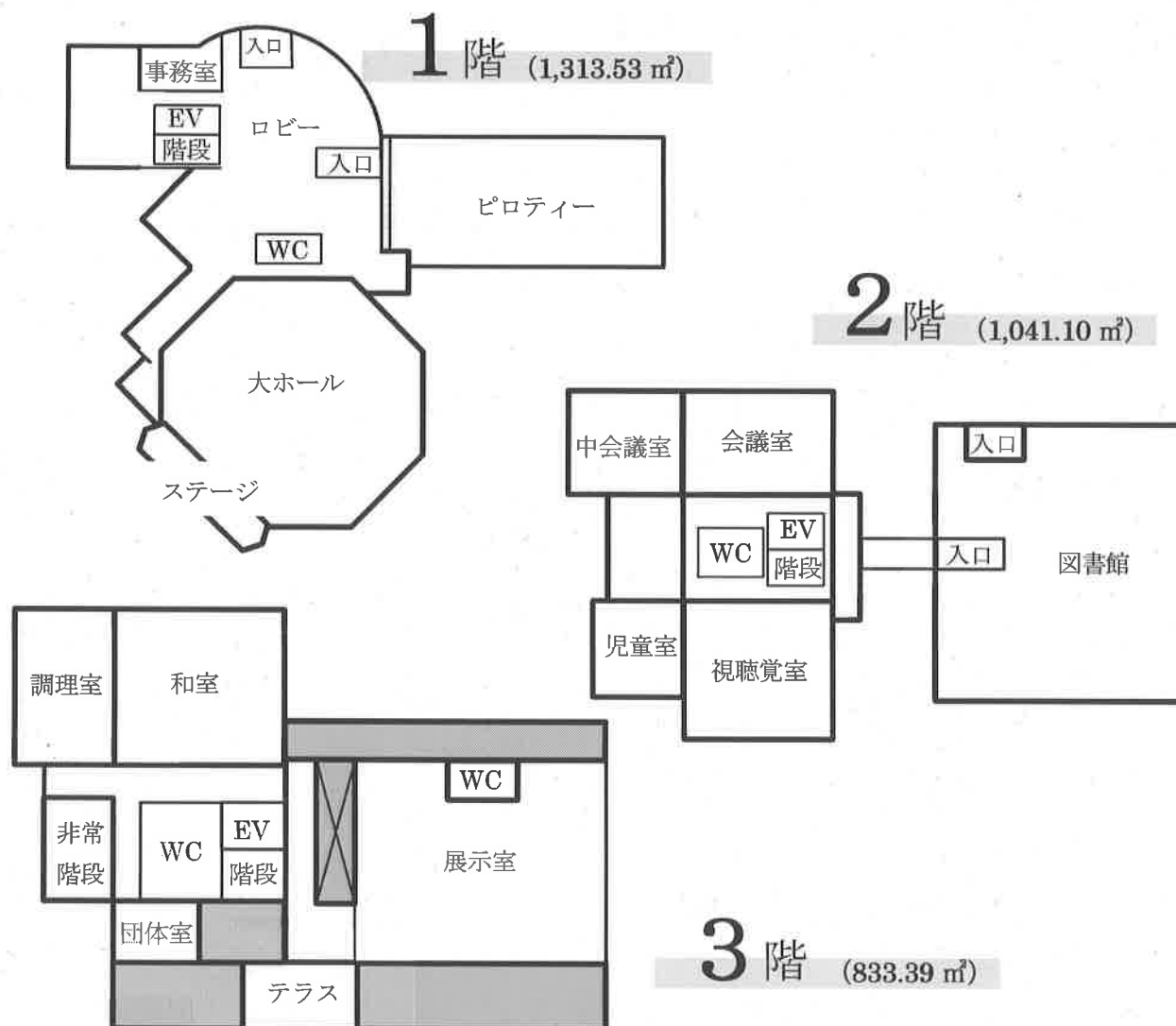


首里公民館



利用施設のご案内



部 屋 名	利用人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	講演会・研修会 (ピアノ・イス・テーブル)
ロ ビ ー		市民の憩いの場、学習スペース (50 席)
ピ ロ テ ィ ー	100 人程度	工作活動・野外の発表会 (野外ステージ)
ふれあいファーム		講座で使用する畑、軽易な遊び
会 議 室	30 人程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
中 会 議 室	20 人程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
視 聴 覚 室	30 人程度	視聴覚機器を利用した学習会・講習会 (イス・テーブル・DVD デッキ)
児 童 室	15 人程度	子どもの活動の場・会議 (イス・テーブル)
和 室	25 人程度	茶道・生け花・和裁・着付け等 (テーブル)
展 示 室	約 400 m²	学級、各団体の作品及び書道、写真等の展示
調 理 室	25 人程度	調理実習 (7 調理台・料理用器具等)
団 体 室	10 人程度	利用団体の連絡事務・少人数の会議 (イス・テーブル)

I 首里公民館の沿革

設計にあたっては一般公募（競技設計）方式を採用している。1982年（昭和57年）12月18日建設に着工、翌年の1983年（昭和58年）11月30日に竣工した。

同館は首里城の北東部、古くは蓮小堀（リングムイ）、その後の首里バスターミナル跡に位置している。首里城公園をちかくにひかえていることから、付近の景観とバランスを考慮した設計になっている。ホールと展示室の屋根には銅板を冠し、全体的に丸みを帯びた形になっている。

- | | |
|-------------------|--|
| 1983（昭和58）年 9月1日 | 那覇市首里公民館開館準備のため主査 仲松弥寿博が発令された。 |
| 11月1日 | 那覇市首里公民館の発足に伴い、主査 仲松弥寿博が配置された。 |
| 11月30日 | 那覇市首里公民館の開館式が行われた。 |
| 12月15日 | 自主グループ・サークルへの施設の提供が始められた。 |
| 1984（昭和59）年 2月8日 | 公民館講座が開始された。 |
| 3月17日 | 第1回首里公民館まつりが開催された。 |
| 1985（昭和60）年11月1日 | 首里公民館利用団体連絡協議会が結成された。 |
| 1986（昭和61）年 4月1日 | 主事が公民館主事に職名変更された。 |
| 1987（昭和62）年 4月1日 | 主査 仲松弥寿博配置替えにより、主査 佐久本全が発令された。 |
| 8月1日 | 「広報龍樋」が創刊された。 |
| 1989（平成元）年 6月13日 | 那覇市保育室運営要綱（公運審答申）に基づいて、乳幼児学級に保育室が設置された。 |
| 1990（平成2）年 4月1日 | 主査が館長に職名変更された。 |
| 12月7日 | 第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰された。 |
| 1992（平成4）年 4月1日 | 館長 佐久本全配置替えにより、館長 平良豊宏が発令された。 |
| 1993（平成5）年 2月18日 | 平成4年度沖縄県生涯学習振興大会において社会教育功労施設として表彰された。 |
| 1994（平成6）年 1月29日 | 首里公民館開館10周年記念式典、祝賀会及び記念公演「組踊と舞踊の鑑賞会」が行われた。 |
| 4月1日 | 館長 平良豊宏配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。 |
| 1996（平成8）年 4月1日 | 公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。 |
| 11月1日 | 第49回優良公民館として文部大臣表彰を受けた。 |
| 1997（平成9）年 4月1日 | 館長 高江洲盛雄配置替えにより、館長 宮里憲幸が発令された。 |
| 2001（平成13）年 4月1日 | 館長 宮里憲幸配置替えにより、館長 新垣紀夫が発令された。 |
| 2003（平成15）年12月6日 | 首里公民館開館20周年記念式典・祝賀会が行われ、記念誌が発刊された。 |
| 2004（平成16）年 2月15日 | 首里公民館開館20周年記念講演会「関東公演成功までの軌跡」が行われた。 |
| 2004（平成16）年 4月1日 | 館長 新垣紀夫配置替えにより、館長 手登根朗が発令された。 |
| 2005（平成17）年 4月1日 | 社会教育指導員1減。 |
| 2008（平成20）年 4月1日 | 館長 手登根朗配置替えにより、館長 上原昭則が発令された。 |
| 2008（平成20）年12月13日 | 開館25周年記念式典を1階ホールにて行なう。 |
| 2010（平成22）年 4月1日 | 館長 上原昭則配置替えにより、館長 下地敏雄が発令された。 |
| 2012（平成24）年 4月1日 | 館長 下地敏雄配置替えにより、館長 渡嘉敷宗清が発令された。 |
| 2013（平成25）年 4月1日 | 館長 渡嘉敷宗清配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。 |

2013（平成25）年11月30日	首里公民館開館30周年記念式典・祝賀会が行われた。
2014（平成26）年3月4日	第66回優良公民館として文部科学大臣表彰を受けた。
2015（平成27）年3月31日	首里公民館開館30周年記念誌が発刊された。
2016（平成28）年4月1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
2018（平成30）年4月1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 上原堅次郎が発令された。
2020（令和2）年4月1日	館長 上原堅次郎配置替えにより、館長 細田聖子が発令された。
2022（令和4）年4月1日	館長 細田聖子配置替えにより、館長 宮平佳樹が発令された。

Ⅱ 令和4年度首里公民館事業目次

1	学習風景（写真）	57
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
	◇～新しい世界への挑戦～「琉歌を詠む人になろう」	58
〔2〕	成人講座	
	◇首里城下町Night Walk	59
	◇漢詩で辿る「冊封（副）使」の来た道	60
	◇楽しく美味しく学ぶ地域のお酒	61
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
	◇「守礼大学」～王都首里めぐり～	62
	◇～せっかくスマホを使うなら知っておきたい～「スマホ初心者講座」	63
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
	◇自然体験inみんな～首里の自然でおもいきり遊ぼう～	64
〔2〕	青年講座	
	◇私の気持ちとあなたの気持ち	65
〔3〕	親子ふれあい教室	
	◇親子で「首里」を楽しもう！～首里の歴史・自然・文化に触れてみよう～	66
	◇～作って歌って楽しんで～「ウチナーグチを学ぼう」	67
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
	◇简单便利なアガラサーの極み	68
	◇親子でやってみよう！初めてのアウトドア（テントの設営、たたみ方と車中泊）編（初心者向け）	69
	◇（春休み版）親子でやってみよう！初めてのアウトドア（テントの設営と車中泊）編（初心者向け）	70
〔2〕	乳幼児学級	
	◇私のBABY STEP！	71
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
	◇首里防災散歩	72
〔2〕	終戦記念日特別企画	
	◇平和朗読会～命どう宝～	73
〔3〕	地域学習支援事業における講師派遣	
	◇地域学習支援事業における講師派遣	74
7	公民館まつり	75

1 学習風景

成人講座

「漢詩で迎える「冊封（副）使」の来た道」



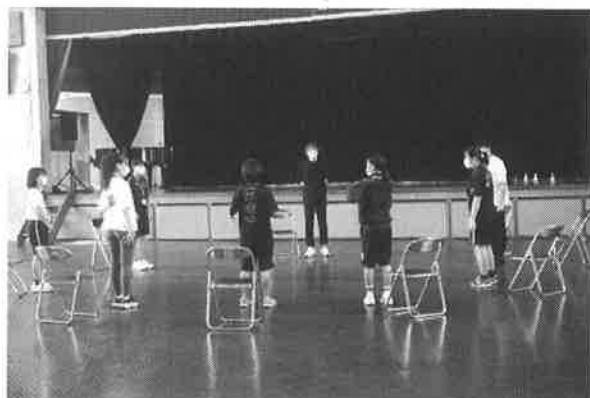
高齢者学級

「「守礼大学」～王都首里めぐり～」



青年講座

「私の気持ちとあなたの気持ち」



親子ふれあい教室

「親子で「首里」を楽しもう！～首里の歴史・自然・文化に触れてみよう～」



家庭教育学級

「親子でやってみよう！初めてのアウトドア
(テントの設営、たたみ方と車中泊編) ～初心者向け～」



乳幼児学級

「私の BABY STEP！」



2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

～新しい世界への挑戦～「琉歌を詠む人になろう」

趣 旨：沖縄本島を中心に生まれた叙情歌で、15～16世紀ごろから現代に受け継がれてきた文化「琉歌」を継承するため学習する。

期 日：令和5年3月8日（水）・全1回

時 間：13:00～15:00

場 所：首里公民館 視聴覚室

対 象：那覇市在住または在勤・在学の人

受講料：無料

定 員：先着15人

申込人数：17人（うち受講決定人数17人）

参加延べ人数：14人

講 師：与儀 千鶴子（沖縄県沖縄語普及協議会）



★★ 学習プログラム ★★

- ① 沖縄の文化「琉歌」に親しもう！
- ② 「琉歌」の鑑賞
- ③ 「琉歌」を詠んでみよう！



【参加者の声】

- ・先生の情熱に感心しました。琉歌・作ってみたいです。
- ・大変勉強になりました。少しずつ学んで豊かな暮らしに取り入れていけたらと思っています。
- ・初心者導入としても良い講座でした。ありがとうございました。
- ・色々資料もたくさんあり、レジュメもわかりやすく良かった。実際に琉歌作りをやって直しなどやったらもっと良かった。
- ・琉歌とはどのようなものかの理解はできましたが、実際にどのように作ったらよいのかがよくわかりません。もう少しそれについて学びたかったです。
- ・興味深いお話し、楽しかったです。ありがとうございました。
- ・うちなーぐちのことばの使い方等、よく理解でき、大変良い受講になりました。ありがとうございました。

【まとめ】

沖縄の文化である琉歌へ、年齢問わず興味を示す方が多かったことに驚いた。コロナ禍での自分時間が増えたことによる環境の変化も要因のひとつではないかと思う。参加者は琉歌について初めて触れるという方々が多かったようで、この講座をきっかけに更に学びたいという声もあった。

〔2〕 成人講座

首里城下町Night Walk

趣 旨：ウォーキングする時の正しい歩き方を学び、心と身体健康維持のために、首里の夜の景色を見ながら、実際に歩く。

場 所：首里公民館（ホール）及び首里地域

期 間：令和4年11月9日・16日・30日（各水曜日）全3回

時 間：19:00～21:00

対 象：那覇市在住・在学・在勤の18歳以上の人

受 講 料：無料（但し、保険料200円は自己負担）

定 員：先着15人（うち受講決定人数15人）

申 込 人 数：18人

参加延べ人数：33人

講 師：仲吉 和美（那覇市ウォーキング協会）

助 手：真栄田 勝子（那覇市ウォーキング協会）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内容及びコース	参加人数
①	11月 9日(水)	正しい歩き方について（姿勢、歩幅等）	12人
②	11月16日(水)	首里ぐるっとダウンアップコース（当蔵～桃原～山川～大中）	13人
③	11月30日(水)	首里城外苑1週コース（当蔵～崎山～真和志）	8人

【参加者の声】

- ・ウォーキングの知識が良くわかりました。ありがとうございました。
- ・ウォーキングをするいいきっかけになりました。首里城のまわりを歩けたのが良かったです。
- ・みなさんとてもいい方々ですてきな仲間達と首里のまちを歩けてよかった。



【まとめ】

「那覇市健康ウォーキング推進事業」として、市民スポーツ課と連携して行った。講師から歩く際の歩幅や姿勢、健康を維持するためには、どのくらい歩いた方が良い等の説明があり、受講生の皆さんは熱心に聞き入っていた。また、講座の後半は、実際に首里の街中を歩いた。初日は天候が悪く、ホール内を歩くのみであったが、2回目は桃原町や大中町、3回目は首里城外苑を文字通り「Night Walk」を行った。今後も「首里の街並みを楽しみながら健康になろう！」ということで継続出来たらと思う。

漢詩で迎える「冊封(副)使」の来た道

趣 旨：徐葆光（じょほこう）が冊封（副）使として、通ってきた清から琉球までの旅路及び琉球滞在中に彼が残した日記（漢詩）の朗読と解説を中心に学習する。

期 間：令和4年11月12日（土）～12月10日（土）

時 間：各回土曜日10:00～12:00（全4回）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館、福州園、首里公民館 視聴覚室

対 象：那覇市在住・在学・在勤の18歳以上の人

受講料：無料（但し、保険料及び施設入場料の500円は自己負担）

定 員：15人

申込者数：24人（うち受講決定人数15人）

参加人数：15人

参加延べ人数：52人

講師：鄒 揚華（一般社団法人 徐葆光の道を歩もう会 副理事長）

宮城 保茂（古都首里探訪会 事務局長）

★★ 学習プログラム ★★



日時（集合場所）	内容	学習する主な漢詩	参加人数
①11月12日（土） 10:00～12:00 （牧志駅前ほしぞら公民館）	冊封使や徐葆光についての説明及び徐葆光が琉球に渡る際に詠んだ日記（漢詩）や月食を観た際に詠んだ詩を中心に学習する。	「舶行七日至琉球～」 「月蝕詩」（徐葆光）他	13人
②11月26日（土） 10:00～12:00 （福州園）	福州園を散策しながら徐葆光が詠んだ詩や福州園に関連する詩の解説と朗読を行う。	「中山秋思」（徐葆光）、 「月下独酌」（李白）、他	14人
③12月 3日（土） 10:00～12:00 （円覚寺）	徐葆光が滞在中に詠んだ場所（首里周辺）をまわる。円覚寺⇒天王寺跡⇒万松院⇒御茶屋御殿	「圓覺寺神木」、 「遊東苑東中山王四首」、他	13人
④12月10日（土） 10:00～12:00 （首里公民館）	首里城で行われた中秋の宴の際に作った詩や日記（漢詩）の朗読と解説を行う。	「中秋宴小樂府十章」、 「重陽宴龍潭曲」、他	12人

【参加者の声】

- ・300年前の星空と漢詩の組み合わせが最高です。
- ・プラネタリウムと云う切り口で良かった。中国語による詩読良い経験になった。
- ・徐葆光が琉球に来た時月食だった。しかも彼はその知識を持って、時間まで、わかっていたとはすごい人ですね。その月食を再現して見ることができ、とても良かったです。ありがとうございます。
- ・従来素通りしていた箇所も詳しく説明してもらい理解を深めることができた
- ・本日は、雨天でしたが、詩を深く味わうことができたので満足しました。

【まとめ】

徐葆光が冊封（副）使として、琉球滞在中に残した「奉使琉球詩 船中集」を中心に学習した。座学のみならず、詩の中に出てくる首里城や万松院、円覚寺を実際にまわり、鄒揚華氏に詩の解説と中国語での朗読、宮城氏に詠まれた史跡の解説を行っていただいた。プラネタリウムでは、月蝕（食）の詩の解説後に月食のメカニズムを学習し、徐葆光が船の上で、夜空の情景を詠んだ詩を実際にその通りなのか、日付を合わせて投影し、文学を科学の視点で学びながら徐葆光の旅を追体験する事ができた。

楽しく美味しく学ぶ地域のお酒

趣 旨：人とお酒の関係は、飲む飲まないに拘わらず、切っても切れない関係である。沖縄で作られるお酒を中心に歴史や醸造（蒸留）法やお酒とのほどよい付き合い方や呑み方（料理との合わせ方）について学習する。また泡盛の回では、首里にある泡盛酒造所にて作る工程等の見学も行う。

期 間：令和5年2月7日（火）～ 3月7日（火）

時 間：各回火曜日①、② 13：30～15：30、

③、④ 13：30～16：00（全4回）

場 所：首里公民館 視聴覚室、瑞泉酒造

対 象：那覇市在住・在学・在勤の20歳以上の人

受講料：無料（但し、保険料及び材料費の2,500円は自己負担）

定 員：先着15人

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）

参加人数：15人

参加延べ人数：57人

講師：大城敬一郎（オリオンビール株式会社）、池原呂桜良（瑞泉酒造株式会社）、徳川和也（WINE & INTERIOR CLASSICO）、前森裕人（WINE & INTERIOR CLASSICO）



★★ 学習プログラム ★★

日時	タイトル（内容）	講師	参加人数
① 2月 7日（火） 13：30～15：30	お酒との付き合い方 ／ビール編	大城敬一郎 （オリオンビール株式会社）	14人
② 2月14日（火） 13：30～15：30	泡盛編	池原呂桜良 （瑞泉酒造株式会社）	14人
③ 2月21日（火） 13：30～16：00	日本酒編	徳川和也（株式会社CLASSICO、 （一社）日本ソムリエ協会認定 SAKE DIPLOMA）	14人
④ 3月 7日（火） 13：30～16：00	ワイン編	前森裕人（株式会社CLASSICO、 （一社）日本ソムリエ協会 認定 シニアソムリエ）	15人

【参加者の声】

- ・テキストが分かりやすかったです。先生の声もききやすかったです。4種のビールの味の違いも分かりやすく、飲み比べ良かったです。
- ・実際に試飲しながらの説明は理解が深まった。家でもよくのんでいるが歴史や作り方のこと、考えながら飲んでいきたい。
- ・日本酒の味わいが学べ知識も学べた。
- ・よくワインを飲んでますが、ブドウ種や作り方、又作っている国のことなどを知りながら飲むと格別だなと思った。選ぶところから意識してワインを味わいたい。

【まとめ】

日本酒を含めて、沖縄で製造されているお酒を中心に学習した。各講師とも数十ページにも及ぶ資料を作っていただき、テーマとなるお酒を数種類、試飲を交えながら講義を進める形となった。視覚で色味を、香りで嗅覚を、口に含んで味覚を確かめながら講師の説明を聴くことで、五感を使ってより深く学ぶ事ができた。まさに大人の体験学習であった。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

「守礼大学」～王都首里めぐり～

趣 旨：首里に点在する多くの拝所・御嶽・自然の景観を生かした景勝地等を実際に歩いて廻り、心と身体
の健康維持を図るとともに、沖縄の歴史について一緒に楽しく学習する。

期 間：令和4年11月18日（金）～12月16日（金）毎週金曜日・全5回

時 間：9：00～11：30

場 所：首里公民館 視聴覚室及び首里各地

対 象：那覇市在住または在勤の満60歳以上で、2時間30分程度歩ける人

受 講 料：無料（但し、資料代・保険料700円は自己負担）

定 員：15人

申込人数：27人（うち受講決定人数15人）

参加延べ人数：41人

講 師：宮城 俊次（NPO法人那覇市街角ガイド）

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	参加人数
1	11月18日（金）	開講式・首里城周辺（有料地域除く）・玉陵	12人
2	11月25日（金）	赤田町・崎山町・鳥堀町	6人
3	12月 2日（金）	汀良町・赤平町	10人
4	12月 9日（金）	大中町・桃原町	5人
5	12月16日（金）	当蔵町・閉講式	8人



【参加者の声】

- ・宮城先生の説明と、王都首里めぐりができたこと、参加された人達や、公民館の方々と学べたことが良かったです。ありがとうございました。
- ・今回の首里めぐりは、時間があればもう少しゆっくりと説明を聞いて廻りたかったです。雨でも座学ではなく、外での実地見学を希望します。ありがとうございました。
- ・初日から宮城先生の解説はていねいで、わかりやすく、また受講したいです。ありがとうございました。
- ・首里地区に30年あまり住んでいますが、子育てや仕事などで、なかなか勉強することが出来ませんでした。今回の講座で少しだけ首里のことに触れたような気がします。今後とも機会を増やしていただければありがたいです。

【まとめ】

今年度は、首里城周辺も学習内容に入っており、復元中の首里城の様子を見学出来たことで、参加者から「すごい！」という声もあがった。今回の講座は悪天候が続き、参加を見送った方もいたので、悪天候に備えてあらかじめ予備日を設定するべきであった。

～せっかくスマホを使うなら知っておきたい～「スマホ初心者講座」

趣 旨：スマートフォンは持っているけれど、通話でしか使用したことがないという方へ、スマートフォンの基本操作から、ちょっと便利な応用編を学習する。

期 間：令和5年3月2日（木）・3日（金）・6日（月）・全3回

時 間：10:00～12:00

場 所：首里公民館 視聴覚室

対 象：那覇市在住または在勤の満60歳以上で、スマートフォンを持っている人

受 講 料：無料

定 員：先着12人

申込人数：15人（うち受講決定人数12人）

参加延べ人数：35人

講 師：久保田 和成（あっぷす 代表）

助 手：前花 大志

★★ 学習プログラム ★★



回	日 程	内 容	参加人数
1	3月 2日（木）	スマホの基本操作と WI-FI 接続方法	12人
2	3月 3日（金）	インターネット検索と YOUTUBE	12人
3	3月 6日（月）	LINE の基本操作	11人



【参加者の声】

- ・スマホ中級者～上級者コースの開設をして頂きたい。
- ・もう少し時間をかけてもらいたかったです。
- ・知らないことが多く、おおいに勉強になりました。使いながらマスターしていきたいと思います。
- ・やっぱりスマホは難しく、苦手です。でも、今回学習したことを繰り返し練習して、知識を広げて、スマホは楽しい、どんな情報も得ることが出来、便利と言えるよう頑張りたいと思います。
- ・ゆっくり、みんなのペースで講義していただき大変良かったです。ありがとうございました。
- ・今回受講している内容が初級だとすれば、中級、上級、あるいは自由設問の講座を続けて頂けてたら、満足度が数段アップする。家に帰ってからトライするのですが、できない。とても楽しい講座でした。
- ・スマホ初心者にもわかりやすい基礎テキストがあれば紹介してほしい。時代や文明の利器の急激な変化についていけないが、そうも言ってもらえないので、少しでも理解して使いこなせるようにしていきたい。

【まとめ】

スマホ講座を開設するにあたり、ライングループでのビデオ通話が最終目標と決め、それに向けて、参加者の皆さんはお隣の席の方同士で協力しながら、必死についてきている様子だった。今回は3回の講座だったため、参加者にとってはとてもハードであったように感じた。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

自然体験inみんな～首里の自然でおもいきり遊ぼう～

趣 旨：森の家みんなにて、首里にある「自然」を満喫しながら、異年齢の子ども達が交流を通して、おもいきり元気に遊び、学ぶ機会とする。

期 間：令和4年7月30日（土）、31日（日）（全2回）

時 間：1回目：7月30日（土）14:00～17:00

2回目：7月31日（日） 9:00～11:30

場 所：那覇市立森の家みんな

対 象：那覇市内の小学校に通う4年生から6年生

受講料：無料（但し、材料費・保険料650円は自己負担）

定 員：先着15人

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）

参加延べ人数18人

講師：藤井 晴彦（沖縄自然環境ファンクラブ代表）

古堅 裕子（色彩コミュニケーション色ひろば代表）

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	参加人数
1	7月30日（土）	森の指令ゲーム、運命の葉っぱ	10人
2	7月31日（日）	クラフト教室（末吉公園にある葉っぱを集めてコラージュを作ろう！）	8人



【参加者の声】

- ・たんけんして植物や生き物をさがすのが楽しかった。
- ・いろいろなものをさがしたり、うんめいのはっぱをかきうつしたりするのが楽しかった
- ・葉っぱをさがす所で葉っぱを見つけるのが思ったよりむずかしかった。
- ・自分のすきなさくひんがつくれたのでたのしかった。
- ・はっぱとはっぱをくっつけるのがむずかしかった。

【まとめ】

元来、1泊2日で行う講座であったが、新型コロナの感染拡大に伴い、講座の日程から飲食と宿泊を省いた形で取り組んだ。初日は、末吉公園内で動植物を探し回り、二日目は、公園内の落ち葉を使って工作を行った。参加者の声にもあるように楽しかったという感想を多々頂いたが、次年度は、再び宿泊しながら自然体験を満喫できることを心から願う。

〔2〕 青年講座

私の気持ちとあなたの気持ち

趣 旨：自分を知ることと相手を知ること、お互いのコミュニケーションを図る上では、とても重要なことである。しかし、実際には相手のことをあまり知らないということはないだろうか。そこで、表現を職業とする演劇のプロフェッショナルから、コミュニケーションにおける自己表現や他者理解について学習する。

期 日：令和4年8月1日（月）・8月3日（水）・8月5日（金）

時 間：13：30～15：00

場 所：首里公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在学の高校生

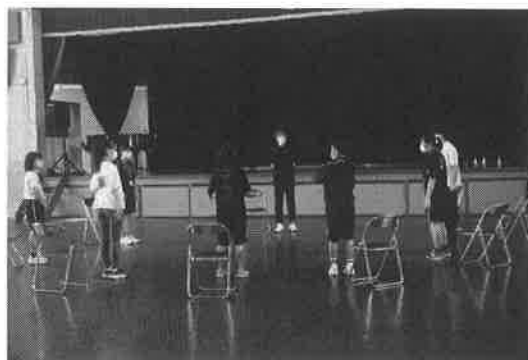
受 講 料：無料（但し、保険料200円は自己負担）

定 員：先着20人

申込人数：9人（うち受講決定人数9人）

参加延べ人数：21人

講 師：永田 健作（SITY株式会社）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	参加人数
1	8月1日（月） 13：30～15：00	自分の気持ちを相手に伝えてみよう	6人
2	8月3日（水） 13：30～15：00	みんなでいっしょに短いお芝居を作ってみよう	7人
3	8月5日（金） 13：30～15：00	作ったお芝居をみんなでより良いものにしていこう	8人



【参加者の声】

- ・今回とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・たくさん学べました。ありがとうございました。
- ・今回は講座を開いていただきありがとうございました。

【まとめ】

参加した高校生達は、コミュニケーション能力の必要性について真剣に考え、講座に取り組んでいた。また、相手の目を見ながら、相手の反応を確認することの大切さを講師に教わり、実際に体験することで、コミュニケーションの方法が実はとても難しいということ学んだ。

〔3〕 親子ふれあい教室

親子で「首里」を楽しもう！～首里の歴史・自然・文化に触れてみよう～

趣 旨：首里の歴史、文化、自然をそれぞれの視点から街歩きや体験学習を通して、親子一緒に学びながらコミュニケーションを深める。

場 所：首里公民館（展示室）、首里染織館 s u i k a r a、
那覇市立森の家みんな、玉陵、首里城公園

期 間：令和4年7月2日・8月13日・10月8日・
12月10日（毎回土曜日）全4回

時 間：14：00～16：00

対 象：那覇市内の小学校1～3年生の児童とその保護者

受 講 料：無料（但し、材料費及び保険料2,500円は自己負担）

定 員：10組

申 込 人 数：45組（うち受講決定人数11組）

参加延べ人数：38組77人

講 師：新垣伝・新垣晴子（新垣養蜂園）、上地ゆき枝・宮国文愛（那覇伝統織物事業協同組合）、
藤井晴彦（沖縄自然環境ファンクラブ）、宮城保茂（古都首里探訪会）

助 手：平田由美（古都首里探訪会）

★★ 学習プログラム ★★

日時（会場）	内 容	講 師	参加人数
① 7月 2日（土） （首里公民館）	首里の自然1 「ミツバチから学ぶ首里の自然について」	新垣伝・新垣晴子 （新垣養蜂園）	11組 22人
② 8月13日（土） （首里染織館 s u i k a r a）	首里の文化 「首里織に触れてみよう（ハンカチ染めを体験しよう）」	上地ゆき枝・宮国文 愛（那覇伝統織物事 業協同組合）	9組 18人
③ 10月 8日（土） （那覇市立森の家み んみんな）	首里の自然2 「首里の森で自然環境について学んでみよう」	藤井晴彦（沖縄自然 環境ファンクラブ）	11組 22人
④ 12月10日（土） （玉陵・首里城）	首里の歴史「首里王朝歴史散歩（首里城とその周 辺にある歴史遺産を散歩しながら学んでみよう）」	宮城保茂・平田由美 （古都首里探訪会）	7組 15人

【参加者の声】

- ・数年前にミツバチが少なくなったとニュースで見た事があり、ミツバチの自然の中での役割を子供と学べたのは、良かった。
- ・自然の物を使って染めた所が良かった。子供も楽しんで作品を作る事ができて喜んでいました。向かいのすいからも見学できて良かったです。
- ・世界いさんの玉うどんや首里城を見れて、いつもの倍楽しめました。

【まとめ】

親子で働き蜂の疑似体験をした後、ハチミツを食し、ハンカチを染め、機織りを間近に見ながら繭に触れた。森で昆虫や花を探し、世界遺産について学んだ。小学校低学年には難しい内容もあったが、親子で体験することで楽しく「首里」について学習できたのではないだろうか。首里にはまだ他にも講座の題材になるものが多々あるということ学んだ。次年度は更に首里の魅力を掘り起こしたい。



～作って歌って楽しんで～「ウチナーグチを学ぼう」

趣 旨：ウチナーグチを絶やさないためには、簡単な言葉から、家庭内で使っていくことが大切であることから、親子で工作や歌を唄いながら、楽しくウチナーグチを学ぶ。

期 日：令和5年2月19日(日)・26日(日) 全2回

時 間：13:00～15:00

場 所：首里公民館 会議室

対 象：那覇市の小学1年生～4年生の親子

受 講 料：無料(但し、保険料・材料費300円は自己負担)

定 員：先着10組

申込人数：9組(うち受講決定人数9組)

参加延べ人数：31人

講 師：与儀 千鶴子・平良 京子(沖縄県沖縄語普及協議会)



★★ 学習プログラム ★★

回	日程	内容	参加人数
1	2月19日(日)	工作(ハーベールー作り)と言葉の学習	8組(親8人・子9人)
2	2月26日(日)	工作(ハブグラー作り)と歌遊び	6組(親6人・子8人)



【参加者の声(保護者)】

- ・子どもと色々作れて楽しかった。
- ・申込からお世話になりました。楽しそうな企画がありましたら是非参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

【参加者の声(子)】

- ・ヘビ作りがおもしろかった。
- ・工作がおもしろかった。
- ・先生方の歌がおもしろかった。おにのパンツはむずかしかった。
- ・ヘビを作るのが楽しかった。ボンドを使うのがむずかしかった。

【まとめ】

子どもたちは小学校でもウチナーグチを学んでいるようで、全くわからない言葉ではないということで、ウチナーグチでのあいさつや歌など、積極的に取り組んでいた。また、工作にも親子で一所懸命取り組んでおり、とても微笑ましく思えた。講座内でお父さんお母さんが、お子さんの前で歌を披露する場面があり、子ども達はとても嬉しそうに見ていたのが印象的だった。

5 家庭教育学級

〔1〕 家庭教育学級

簡単便利なアガラサーの極み

趣 旨：庶民のお菓子として知られるジーガステラ（黒砂糖蒸しカステラ）、またはアガラサーとも呼ばれる蒸し菓子の美味しさと作り方を、お父さんやお母さんから次世代の子ども達へ伝えていくことを目的とする。

配信期間：令和4年10月3日（月）14：00～10月30日（日）

場 所：YouTubeにて配信

対 象：那覇市在住または在勤で、中学生までの子をもつお父さんやお母さん

受講料：無料

定 員：無制限

申込人数：25人（うち受講決定人数25人）

視聴延べ回数：49回

講 師：手登根 節子（那覇市社会教育指導員OB会）

助 手：土屋 恭子（那覇市社会教育指導員OB会）

新里 史子（那覇市社会教育指導員OB会）

座波 弥生（那覇市社会教育指導員OB会）

★★学習プログラム★★

- ・アガラサーについての説明
- ・アガラサーの基本的な作り方の紹介
- ・重ね煮を使ってアガラサーを作る（応用編）



【まとめ】

動画配信のアガラサー作り講座は、空いた時間に視聴し、アガラサーを作ることができるという利点から、お母さんだけでなくお父さんの申込もあったことが良かった。また、応用編として、野菜たっぷりの重ね煮を使ったヘルシーアガラサーの紹介もして頂いた。この動画をきっかけに、ご家庭の味をいろいろ楽しんでいたけたらと思う。

親子でやってみよう！初めてのアウトドア（テントの設営、たたみ方と車中泊）編（初心者向け）

趣 旨：キャンプや車中泊に関する必要な事を親子で学ぶことにより、親子間のコミュニケーションの活性化や共同作業による達成感を得ると共に、家庭教育力の向上を図る。

場 所：首里公民館ホール及び駐車スペース

期 間：令和4年10月8日（土）

時 間：9：00～11：30

対 象：那覇市の小学校に通う1～6年生とその保護者10組

受 講 料：無料（但し、保険料100円は自己負担）

定 員：先着10組（うち受講決定人数10組20人）

参加延べ人数：9組18人

講 師：稲垣 暁（防災士・災害プラットフォームおきなわ）
島田望・神谷レクレア由香（キャンプおきなわ事業協同組合）



★★ 学習プログラム ★★

キャンプを行う際の注意事項等のお話を聞いた後、実際に親子でテントの組立や片付けを体験する。また、車中泊仕様の車を実際に観ながら必要な装備についても学ぶ。

【参加者の声】

- ・災害時の車中泊について、色んな対さくが聞けて良かったです。
- ・キャンプの技術と防災の関連についてよく分かった。キャンプと防災について知見を深めることができた。ぜひ、実践で活かしたい。
- ・子どもにキャンプの楽しさや災害時に使えるなどためになった。子どもがキャンプに興味を持った。
- ・テントを立てるのや、車中泊が楽しかったです。
- ・テントの骨組みをさすところとたてるところがムズかしかったです。いろんな物が見れて良かったです。



【まとめ】

親子で一緒に、テントや車中泊について学習した。実際に設営や車中泊仕様の車に乗ってみるといった体験を行うと同時に、キャンプで必要な知識や経験が災害時にも役立つという説明を受けた事で、保護者は、より真剣に講師の話を聞き、テント設営に取り組んでいた。今回、受講生全員が公民館講座を初受講であることがわかった。公民館を知ってもらうと同時に、防災教育という観点からも継続していきたいと思った。

(春休み版) 親子でやってみよう！初めてのアウトドア (テントの設営と車中泊) 編 (初心者向け)

趣 旨：キャンプや車中泊に関する必要な事を親子で学ぶことにより、親子間のコミュニケーションの活性化や共同作業による達成感を得る事で、家庭教育力の向上を図る。また、アウトドアの知識や経験は、災害時にも役立つので、親子一緒に学ぶ事により防災への関心も高める。

場 所：首里公民館ホール

期 間：令和5年3月25日 (土)

時 間：13:00～15:30

対 象：那覇市の小学校に通う1～6年生とその保護者10組

受 講 料：無料 (但し、保険料120円は自己負担)

定 員：先着10組 (うち受講決定人数10組20人)

参加延べ人数：7組13人

講 師：稲垣暁 (防災士・災害プラットフォームおきなわ)

久高友嗣・島田望 (キャンプおきなわ事業協同組合)



★★ 学習プログラム ★★

キャンプを行う際の注意点やキャンプと災害時の過ごし方の共通点を学習した後、実際に親子でテントの組立や片付けを体験する。また、車中泊仕様の車を見学し、蓄電池や車中で使用する寝具等について学ぶ。

【参加者の声】

- ・子供と共通の関心事でありがたかった
- ・簡易ベッドを買って、アウトドアを楽しみたいと思った。また、災害時の様子や大切な事を知れてよかった。
- ・車中泊も実際の車を見せてもらえて大満足。ソーラーパネルやちく電池は気になっていた所以説明付きで嬉しい時間でした。
- ・テントを組み立てるのが楽しかった。お母さんと一緒に協力しながらテントを組み立てることができて楽しかった。



【まとめ】

10月に行った「親子でやってみよう！初めてのアウトドア (テントの設営、たたみ方と車中泊) 編 (初心者向け)」が好評につき、第2弾として行った。前回と異なる点は、テントの組立方や構造の説明を丁寧に行ったうえでテント設営を行った。その後、ホールの外 (畑と間の芝生スペース) に車中泊仕様の車を2台入れて車中泊の説明を受けた。親子共に興味が有り、一緒に考えながら組み立て、その知識や経験が災害時にも役立つということで、親子そろって楽しく学習できたのではないかな。次年度も継続したい。

〔2〕 乳幼児学級

私の BABY STEP !

趣 旨：同じ気持ちの親同士、ざっくばらんに話し合いながら日頃の悩みや不安を解消し、一緒に心とからだの健康維持を目指す。

期 日：令和4年9月6日（火）～9月27日（火）毎週火曜日・全4回

時 間：10:00～12:00

場 所：首里公民館 ホール 他

対 象：那覇市在住または在勤の6ヶ月～1歳6ヶ月の乳幼児を持つ親子

受 講 料：無料（但し、保険料400円は自己負担）

定 員：親子10組（先着順）

申込人数：10組（うち受講決定人数10組）

参加延べ人数：35人

講 師：古堅 裕子・仲宗根 純子（色彩コミュニケーション色ひろば）

金城 実佳（一般社団法人トラストコーチング・NPO法人マザーズコーチング）

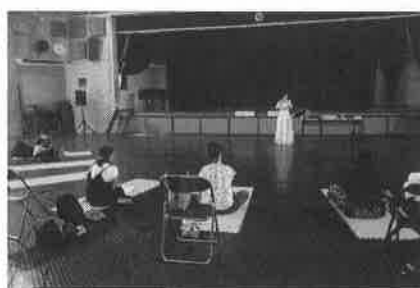
金城 まみ子（フルート奏者）

百名 奈保（助産院きらきら 代表）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	9月 6日（火） 10:00～12:00	体ほぐし心ほぐし	古堅 裕子 仲宗根 純子	7人
2	9月13日（火） 10:00～12:00	コーチングコミュニケーション	金城 実佳	6人
3	9月20日（火） 10:00～12:00	ベビーコンサート	金城 まみ子	7組 14人
4	9月27日（火） 10:00～12:00	親子の心とからだ	百名 奈保	8人



【参加者の声】

- ・コロナ禍で色々な講座やイベントが中止になる中、久々に対面&託児付きの講座を受けることが出来て良かった。座学も運動もできて良かった。
- ・子どもを預けて参加できて、リフレッシュでき、楽しい講座だった。
- ・コロナ禍で孤立感が強かったが、子どもも家族以外の人と関わることが出来て良かったです。

【まとめ】

コロナ禍の生活が続いたことで、孤立感を感じている参加者が多く、毎週参加することが楽しいという意見があった。対面学習の必要性を強く感じた。

6 その他の事業

〔1〕 地域連携事業

首里防災散歩

趣 旨：実際に災害が起こった時にどのような行動をとる必要があるのか。前もって確認することや具体的な行動の取り方、実際に歩いて、避難経路や危険な場所及び注意が必要な箇所等を確認する。
最終回には、防災士からAEDの使い方について学ぶ。

場 所：首里公民館 ホール、首里崎山町・首里鳥堀町

期 間：令和5年3月4日（土）～3月25日（土）

時 間：10:00～12:00

対 象：那覇市在住・在学・在勤の18歳以上の方

受 講 料：無料（但し、保険料50～300円は自己負担）

※1回目、4回のみ参加は50円、1回、2回又は3回目、
4回目参加の場合、200円、全て参加の場合、300円

定 員：40人 申込人数：17人 参加延べ人数：35人

講 師：稲垣 暁（防災士、災害プラットフォームおきなわ共同代表理事）
仲間 友作（防災士）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	参加人数
①	3月4日（土）	防災の基礎（首里の地質、雨と地震、災害時の水と食）	11人
②	3月11日（土）	避難経路や危険箇所の確認（首里崎山町）	6人
③	3月18日（土）	避難経路や危険箇所、井戸の確認（首里鳥堀町）	9人
④	3月25日（土）	②、③の振り返り（グループワーク）、AEDの使い方	9人

【参加者の声】

- ・町歩きで、これまで知らなかった歴史も知ることが出来て楽しかった。
- ・まちを歩くこと、振り返りがあること、AEDに対すること等考えることが多く、災害に対してしっかり考えようと思いました。
- ・災害時の危機管理等、意識付けになりました。ありがとうございました。
- ・防災について知らない事が多かった。町内会やマンションの自治会など勉強会をもちたい。
- ・危ない箇所を共通認識することが大事！救命の体験ができてよかった。



【まとめ】

初回は、沖縄の災害リスクについて学習した。2～3回目は、実際に街歩きをしながら危険な箇所や避難経路を確認し、井戸のある場所や段丘、断層についても学習した。その際、講師の説明のみならず、地域の方々にその地域のお話や最近起きた災害の説明をして頂く事も多く、防災に関するお話だけではなく、地域の歴史や現状についてのお話も何うことができた。

最終回は、崎山、鳥堀両町の街歩きの振り返り（グループワーク）を行った。その後、防災士によるAEDの使い方の講習を行った。AEDの練習機と人形を使用して使い方を確認するといった実践的な内容であった。次年度も廻る場所を変えて、企画実施していきたい。



〔2〕 終戦記念日特別企画

平和朗読会～命どう宝～

趣 旨： 戦争体験者の高齢化により、体験者の生の声を聴く機会が減る事が懸念される中、先の大戦で多くの尊い命が失われた沖縄で、この朗読会を通して、平和への想いと命の尊さを訴えていく。

期 日：令和4年8月20日(土)

時 間：14:00～16:00

場 所：首里公民館 ホール

対 象：那覇市在住または在勤か在学の人

参 加 料：無料

定 員：30人

申込人数：26人(うち参加決定人数26人)

参加延べ人数：32人(うち出演者11人)

出演者：平和朗読・首里、アダルツリコーダーアンサンブル

内 容：サブタイトル「命どう宝」をテーマに沖縄の言葉を交えた朗読で平和を訴える。



【参加者の声】

- ・非常に良い企画です。シニアの齢になると家に閉じこもり活動がにぶりがちですが、こうしたサークル活動をしたと思います。ありがとうございました。
- ・各証言を聞くことができ、とても有意義でした。ほんとに「命どう宝」です。
- ・戦争体験者が少なくなった今、平和朗読会をずっと続けてほしいと思います。
- ・皆様お疲れ様でした。これからも、この活動を続けて、戦争の恐ろしさを伝えて下さい。今日はとても感動しました。ありがとうございました。
- ・素晴らしいリコーダー演奏や朗読、大変ありがとうございました。今のこの世の中、本当に次の世代にも繋いでゆく大切な(命どう宝)事だと思います。
- ・「命どう宝」今日の朗読を聞いて本当にそうだなと思いました。つらい体験をされた方々の想い、戦争をしない、させないということを改めて考えなければいけないと思います。
- ・戦争間際に生まれたのですが、戦争の悲惨さは初めて聞いた。今日は大変有難うございました。
- ・命どう宝、大事なこと。平和を感じました。朗読会への参加は初めてですが、本で読むより、余計に実感できました。映像や音楽もあり、参加出来て良かったです。平和な世の中になるように願います。

【まとめ】

新型コロナで規模を縮小しての開催であったが、「命どう宝」を発信することができ、良かったと思う。戦争体験を語り継ぎ、平和への想いや命の尊さを訴える取り組みを継続することが大切であることが、アンケートからも伺えた。

〔３〕 地域学習支援事業における講師派遣

年間の派遣件数：１件

派遣先：下表のとおり

1	申請団体	家譜サークル
	事業名	講師を招聘し学習する事業
	学習内容	旧慣の存続からその改変へ―「土地整理事業」による「近代化」への道―
	開催日時	令和４年８月１日（月） １４：００～１６：００
	開催場所	首里公民館 展示室
	講師名	来間 泰男
	参加人数	４５人
	学習報告 (成果、反省等)	明治政府は、「琉球王国」を「琉球藩」としたうえで、それを「沖縄県」とした。しかし、それまでの社会の在り方（旧慣）の改変はすぐにはせず、２０世紀入口の「土地整理事業」でようやく着手した。その背景や過程等について学んだ。

第 39 回 首里公民館まつり



第39回首里公民館まつり



～身近な文化活動、広げよう、迎えよう、出会いの公民館～

2月4日（土）～5日（日）

展示発表(楽展)

（琉歌、首里地域地図、写真など）

2/4(土) 9:00～18:00

2/5(日) 9:00～16:30

（1階ロビー、ラウンジ）



舞台発表



2月5日(日)のみ

開場 11:30

・舞台発表第一部 12:00～14:00 (大ホール)

・舞台発表第二部 14:25～16:30 (大ホール)

※舞台の進行状況により時間が変わる場合もあります。ご了承ください。



主催：首里公民館まつり実行委員会

問い合わせ先：917-3445

祭

祭

第 39 回 首里公民館まつり

舞台プログラム (2月5日 12:00～ ホール)

		時間	団体名	ジャンル	演目
第一部	1	12:00	琉湛会A	三線	かじゃで風節・ごゑん節 辺野喜節
	2	12:13	アダルツ・リコーダー・アンサンブル	リコーダー	カイト・いのちの歌
	3	12:26	琉舞学習会	琉舞	踊リクワディーサー(四ツ竹)
	4	12:35	童謡サークル赤い鳥那覇	合唱	春よこい・思い出・ゆうなの花
	5	12:48	首里キューナ保存会	キューナ	ダンジュ嘉例吉・ヒーヤー踊(その二) ヤラシイ(仮)
	6	13:01	ギターサークル首里	ギター	黒いひとみの・アニーローリー シバの王女
	7	13:13	琉湛会B	三線	安波節・久高万寿主節 てんしゃごの花
	8	13:26	極真空手沖縄サークル	空手	空手演武
	9	13:39	首里吟友会	詩吟	峨眉山月の歌・中国を巡りて 白鳥は
	10	13:52	プアケニケニ	フラダンス	プアリリレファ・ケアロハ
		14:02	～ 休憩 ～		
第二部	11	14:25	ソーイング竹田	洋裁	ファッションショー
	12	14:48	平和朗読首里	朗読	発音の練習・あいうえおうた
	13	15:01	三線サークル笑い福い	三線	安波節・デンサー節 安里屋ユンタ
	14	15:14	琴貴会	大正琴	さくらさくら・荒城の月
	15	15:27	琉舞友の会	琉舞	汀間当
	16	15:38	寿の会	琉舞	浜千鳥
	17	15:47	首里楽楽太極拳	太極拳	楽楽太極拳
	18	16:00	首里ファミリアコーラス	合唱	すみれ色の窓で・羽衣 おぼろ月夜
	19	16:13	那覇中国胡弓同好会	中国胡弓	揺籃局・山青、水秀、好風光
	20	16:23	沖縄マンドリンアンサンブル	マンドリン	J-POPメドレー(花・涙そうそう・ さとうきび畑・島唄)

※舞台の進行状況により、時間が変わる場合がございます。ご了承ください。

出展団体 (2月4日 9時～5日 16時まで 1階ロビー、ラウンジ)

団体名	展示物
古都首里探訪会	首里各町史跡紹介
末吉杜18	写真展示
沖縄県歌人会	短歌 (作品展示)
波上琉歌会	琉歌 (作品展示)
那覇市包括支援センター城西	介護予防・権利擁護・認知症について
首里公民館講座報告	今年度実施した講座紹介

主催：首里公民館まつり実行委員会 共催：首里公民館

お問い合わせ：首里公民館 098-917-3445

